

# ふくしえんだより

発行責任者 今野正孝

第76号

【旭川福祉園】〒070-0901 旭川市花咲町1丁目2232番地

事務局 TEL(0166)53-5781・FAX(0166)51-2409 / 支援員直通 TEL(0166)54-8553・FAX(0166)54-8559

【きたのまち】TEL(0166)38-1001・FAX(0166)38-1002



旭川旭親会【<https://kyokushinkai.or.jp/index.html>】

きたのまち【<https://kyokushinkai.or.jp/kitanomachi.html>】

## 主 な 記 事

- 理事長よりあいさつ・・・・・・・・・・ 2
- 各役員紹介・・・・・・・・・・ 2
- 補助金・助成金事業内容・・・・・・・・ 3
- 決算報告・・・・・・・・・・ 3
- きたのまちより・・・・・・・・・・ 4
- 各事業所の紹介（就労継続支援B型）・・・・ 5
- 各事業所の紹介（生活介護）・・・・ 6
- 各事業所の紹介（グループホーム）・・・・ 7
- 2025年のできごと・・・・・・・・・・ 7
- 寄付金・寄贈品・・・・・・・・・・ 8
- 新任職員紹介・・・・・・・・・・ 8
- 編集後記・・・・・・・・・・ 8

# 令和八年 新年のごあいさつ

社会福祉法人 旭川旭親会

理事長 今野正孝

新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな年を健やかに迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、社会福祉法人旭川旭親会の運営ならびに各種事業に対し、行政機関、関係団体、地域の皆様、そして金融機関の皆様から、格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、当法人はこれまで、知的・発達障がいのある方一人ひとりの尊厳を守り、地域に根ざした福祉の実践を積み重ねてまいりました。しかし、社会環境が大きく変化する今、従来の延長線上にある福祉だけでは、次の世代に責任を果たすことができない、そのような強い危機感を私は抱いております。

その覚悟のもと、昨年は農業と福祉を結びつける「農福連携」を事業の柱として位置づけ、令和七年二月に自前の食品加工場を完成・稼働させることができました。すでにトマトの生産からジュース等の製造から加工まで一貫した商品の販売まで取り組んでいます。

また、本年四月からはアートカフェの実証検証と、初夏には、従来の水平型農業に加え、縦型農業を室内で水耕栽培の実証実験が始まります。当法人も、多くの難しい課題をかかえておりますが、そこは職員の専門性を磨くことで乗り越えていくと考えています。すでに、若いスタッフが水耕栽培士の資格もとりました。「福祉だからこそ実現できる価値」を、社会にしっかりと発信していく一年にしたいと考えております。

私たちは、これからも制度に依存するだけの福祉ではなく、地域に必要とされ、信頼され、次の世代へと引き継がれていく、自立的で開かれた社会福祉法人を目指してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き一年となりますことを祈念するとともに、引き続き、厳しくも温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 社会福祉法人 旭川旭親会

理事長 今野正孝

特別顧問 中田英作

理事 生駒雅彦

理事 濱田一康

理事 煙山千賀子

理事 鈴木太郎

監事 佐藤優幸

監事 加藤隆

評議員 山崎與吉

評議員 大廣泰久

評議員 稲田公要

評議員 湯野信一

評議員 萩原拓

評議員 高野祐子

評議員 加藤優樹

評議員 後藤吉延

評議員 日下貴博

旭川福祉園保護者の会

世話人 杉田保憲

世話人 藤岡雅恵

世話人 丸山正義

世話人 根本瑠美

世話人 増井智子

旭川福祉園利用者自治会

会長 阿部泰輔

副会長 井内侑花

美化委員長 田井竜人

会計 鈴木直土

行事委員長 上林昌人

監査 仲条文月

評議員選任  
解任委員

# 補助金・助成金事業内容

1

現在、農林水産省より令和7年度農山漁村振興交付金事業の交付決定を受け、地域資源活用価値創出推進事業・整備事業（農福連携型）を行っています

## 交付金事業内容

- 交付金対象事業 令和7年度農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出推進事業（農福連携型））
- 交付金額 … 3,000,000円（令和7年度 予定額）

## 事業内容

- ・ 大学や研究機関との連携調整
- ・ 栽培技術の習得 ・ 新しい商品の開発、既存商品の改良
- ・ 加工技術の習得に向けた実務研修 ・ 農産加工品の試験販売 等



※令和8年度は自己資金で実施。

2

公益財団法人 北海道新聞社会福祉振興基金様より2025年度北海道新聞社会福祉振興基金福祉公募助成（小規模就労支援助成）事業の助成金交付を受け、ノートパソコン・カラーレーザープリンタを購入しました

## 助成事業内容

- 助成金交付団体 公益財団法人 北海道新聞社会福祉振興基金
- 助成金対象事業 2025年度北海道新聞社会福祉振興基金福祉公募助成（小規模就労支援助成）事業
- 助成金額 202,000円
- 購入物品 ノートパソコン1台、カラーレーザープリンタ1台



## 令和6年度 決算報告

社会福祉法人 旭川旭親会

(単位:千円) 貸借対照表の要旨 令和7年3月31日現在

| 科目             | 金額        | 科目          | 金額        |
|----------------|-----------|-------------|-----------|
| 資産の部           |           | 負債の部        |           |
| 流動資産           | 412,987   | 流動負債        | 35,731    |
| 固定資産（基本財産）     | 509,777   | 固定負債        | 212,629   |
| 固定資産（その他の固定資産） | 299,550   | 負債の部合計      | 248,360   |
|                |           | 純資産の部       |           |
|                |           | 基本金         | 30,065    |
|                |           | 国庫補助金等特別積立金 | 207,324   |
|                |           | その他の積立金     | 199,473   |
|                |           | 次期繰越活動増減差額  | 537,092   |
|                |           | 純資産の部合計     | 973,954   |
| 資産の部合計         | 1,222,314 | 負債及び純資産の部合計 | 1,222,314 |

資金収支計算書の要旨

(自)令和6年4月1日

| 科目           | 金額      |
|--------------|---------|
| 就労支援事業収入     | 52,375  |
| 就労支援事業支出     | 52,144  |
| 就労支援事業活動収支差額 | 231     |
| 事業活動による収入    | 443,370 |
| 事業活動による支出    | 358,746 |
| 事業活動資金収支差額   | 84,624  |
| 施設整備等による収入計  | 25,052  |
| 施設整備等による支出計  | 59,450  |
| 施設整備等資金収支差額  | -34,398 |
| その他の活動による収入  | 44,912  |
| その他の活動による支出  | 4,787   |
| その他の活動資金収支差額 | 40,125  |
| 当期資金収支差額合計   | 90,582  |
| 前期末支払資金残高    | 296,340 |
| 当期末支払資金残高    | 386,922 |

事業活動計算書の要旨

(至)令和7年3月31日現在

| 科目           | 金額      |
|--------------|---------|
| 就労支援事業収益     | 52,375  |
| 就労支援事業費用     | 52,375  |
| 就労支援事業活動増減差額 | 0       |
| サービス活動収益     | 441,950 |
| サービス活動費用     | 385,494 |
| サービス活動増減差額   | 56,456  |
| サービス活動外収益    | 1,420   |
| サービス活動外費用    | 1,627   |
| サービス活動外増減差額  | -207    |
| 経常増減差額       | 56,249  |
| 特別増減収益       | 25,052  |
| 特別増減費用       | 25,149  |
| 特別増減差額       | -97     |
| 当期活動増減差額     | 56,152  |
| 前期繰越活動増減差額   | 483,165 |
| 当期末繰越活動増減差額  | 539,317 |
| その他積立金取崩額    | 0       |
| その他積立金積立額    | 2,225   |
| 次期繰越活動増減差額   | 537,092 |

## 上川中南部障害者就業・生活支援センターきたのまち

センター長 垣内中 明

新年あけましておめでとうございます。

当センターは平成21年4月より北海道と北海道労働局の委託を受け、上川中南部(2市12町1村)を活動圏域に現在9名のスタッフで運営しています。

障害者雇用に関しては2026年7月から法定雇用率がさらに引き上げられる予定となっており、また、人材不足の解消という観点での企業のニーズも高まっておりますので、就職を希望する方には活躍の機会が増えることが想定されます。

今年もハローワーク旭川、北海道障害者職業センター旭川支所等と連携しチーム支援としての体制を構築して支援にあたります。

一人でも多くの相談者が就職、また長く職場に定着できるよう就業、生活面での一体的な相談支援を行っていきたくと思います。

本年もよろしくお願いいたします。

### 【令和7年4月1日～12月31日の活動報告】

|        | 身体  | 知的    | 精神    | 発達  | 難病 | 高次脳 | その他 | 合計    |
|--------|-----|-------|-------|-----|----|-----|-----|-------|
| 登録者    | 50  | 509   | 173   | 81  | 1  | 1   | 11  | 826   |
| 新規求職者  | 6   | 33    | 15    | 11  | 0  | 0   | 1   | 66    |
| 相談支援件数 | 343 | 2,089 | 1,532 | 444 | 0  | 0   | 5   | 4,413 |
| 職場実習研修 | 1   | 25    | 11    | 8   | 0  | 0   | 0   | 45    |
| 就職件数   | 2   | 54    | 8     | 6   | 0  | 0   | 0   | 70    |
| 職場定着支援 | 109 | 491   | 86    | 26  | 0  | 0   | 0   | 712   |

## 北海道発達障害者支援道北サブセンターきたのまち

コーディネーター 佐藤 彰一

新年あけましておめでとうございます。

北海道発達障害者支援道北サブセンターきたのまちは、平成17年8月より北海道の委託を受け、道北3振興局(上川・留萌・宗谷の6市21町4村)を担当圏域として運営しております。主な業務として、発達障がいのある方やそのご家族を支える関係機関への支援(機関支援)と、地域全体の支援体制づくりに取り組んでまいりました。

今年度からは、6月より発達障害者地域支援マネジャーが道内に5名配置され、そのうち1名が道北圏域を担当することとなりました。これにより、自閉スペクトラム症をはじめとした発達障がいのある方への支援に携わる障害福祉サービス事業所等を対象に、事業所・機関全体の発達障がいに関する理解の深化と、支援力向上に向けた助言や後方支援を行う体制が整いました。

当センターでは、この新たな体制を地域の皆さまに有効に活用していただけるよう、窓口対応や周知活動を通じて、関係機関との連携を一層強化していきたいと考えております。引き続き、現場の声を大切にしながら、道北地域における発達障がい支援の充実に向けてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## きたのまち相談支援事業所

管理者 島倉 千香絵

新年あけましておめでとうございます。

きたのまち相談支援事業所では、指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業をしています。日頃より、ご家庭へのモニタリング訪問にご協力をしていただき、ありがとうございます。

また、旭川市の委託を受け、障害者相談業務を引続きしていきます。

専従6名、兼務2名の職員で、今後も変化をしていく制度や環境を把握して、地域の課題に取り組む、福祉サービスを利用する方々が安心して過ごせるように努めていきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 旭川市職親会

事務局 垣内中 明

新年あけましておめでとうございます。

旭川市職親会は、障がいのある方々の就職と職場への定着を支援し、共に働き、共に暮らすことを願う様々な職種の事業主を中心とした団体です。全道で12カ所ある職親会の中でも旭川市職親会は最も古く伝統と歴史のある職親会で、現在130名(法人・個人)の会員の皆様のご協力をいただきまして社会福祉法人旭川旭親会、障害者支援センターきたのまちが中心となって事務局を運営しております。

今年も例年通り「総会・優良従業員表彰式、祝賀会」、「障がい者激励会」、「職場訪問研修会」といった行事を無事開催することができました。

9月13日に障がい者激励会(ひがしかぐら森林公園パークゴルフ場)、10月16日に職場訪問研修会(北海道美深高等学校あいべつ校)を実施し、多くの会員の皆様にご参加いただき心より感謝を申し上げます。

今後も、1人でも多くの事業主の方、ならびに趣旨にご賛同いただける団体および個人の方に会員となっていただけるように活動いたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## きたのまちジョブリハセンター

センター長 武田 亘明

新年あけましておめでとうございます。当センターの登録者数は51名で、毎日10名ほどが利用されています。パソコン教室ではワープロを基礎から学び、ヨガ教室では心身の健康づくりに取り組んでいます。

グループワークは自己を見つめる機会となり、軽運動ではバドミントンやボウリングなどで良い汗をかいています。

就労準備講座では仕事に関する学びを積み重ね、小行事では旭山動物園へ行き、動物たちに癒されました。ハロウィンやクリスマスの茶話会では楽しくふれあい交流を深めました。

道新福祉振興基金の補助によりパソコンとプリンタを新規購入し、データ管理や印刷物の製作はとてもスムーズになりました。

これからも利用者が自分らしくゆったりと楽しい時間を過ごせるように、工夫を重ねてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 就労継続支援B型 【旭川福祉園】

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、旭川福祉園の運営に際し、保護者の皆さま並びに関係機関の皆さまから、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当園では、就労継続支援B型事業として、利用者一人ひとりの特性や体調に配慮しながら、作業活動や施設外就労に取り組んでまいりました。あわせて、農福連携の取り組みとして、農作業を通じた就労機会の創出や、地域資源を活かした活動を行い、働く意欲の向上や社会参加の促進につなげております。

これらの取り組みは、地域の皆さまとの協力のもと、地域社会の一員として役割を果たすとともに、持続可能な事業運営を目指すものです。今後も、地域との繋がりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせる社会の実現に寄与できるよう努めてまいります。

本年も、安心して通所できる環境づくりを基盤に、利用者が自信と達成感を持って活動できる支援の充実を図るとともに、保護者の皆さま、関係機関の皆さまと連携を深め、より質の高い福祉サービスの提供に努めてまいります。

皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

施設長 加藤 浩二

## 農福連携 について

新年あけましておめでとうございます。

近年、「農福連携」という言葉を耳にすることが多くなってきました。旭川市では農福連携の取組みがとて盛んに行われており、旭川福祉園でも農作業や加工作業、施設外就労で農福連携を進めています。

当法人では、農山漁村振興交付金を活用し、2月に加工場を設立しました。これにより、園で育てたトマトを使ったトマトジュースを生産出来る様になりました。

畑では、トマトやミニトマトをはじめ、露地野菜や寒締めほうれん草の栽培を行っています。今年度は、さまざまな品種のトマト栽培にも挑戦し、甘味と酸味のバランスが良い、自然の味わいを生かしたトマトジュースが完成しました。

また、加工作業に参加する利用者の皆さんも増え、自主生産の取組みが広がっています。さらに施設外での就労先も増え、農作業を通して地域の方々との関わりも深まってきました。畑や作業の現場で、いきいきと働く皆さんの姿がとても印象的です。

これからも、農福連携の取組みを大切にしながら、利用者の皆さんが安心して働き、成長できる環境づくりを進めていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

支援係長 小林 康二



フロントライン



益パファーム



大川農園

新年あけましておめでとうございます。

今年度は12月末現在で3人の方が就職しています。ナカポツセンターと情報共有をし、企業の見学や体験を経て就職へと結びつきました。その他にもハローワーク主催の合同ミニ面接会への参加や、障害者職業センターのジョブコーチ支援の活用など他機関との連携により、就職科の活動は成り立っています。

就職後、様々な壁にぶつかり、不安や悩みを抱える方もいますが、周囲のサポートにより働き続けることができていると強く感じます。その中でも、雇用していただいている企業様のご理解や、身近で働いておられる職員の方のお力添えが一番の支えだと実感しています。「頑張っているね」「助かるよ」などと優しく声を掛けていただけることで安心感を持って取り組み、働く意欲に繋がっております。

皆様への感謝を忘れず、一人でも多くの方が長く定着できるよう、今後も一サポーターとして携わっていきたく思います。

各関係機関の皆様には、本年も変わらぬご指導のほど心よりお願ひ申し上げます。

主幹 八代 瑞希



## 就職科

# 生活介護 【第二旭川福祉園】

今年度は、法人として長年の目標であった食品加工事業が大きく前進した一年となりました。

2月には待望の食品加工場が完成し、本格的に加工が始まりました。利用者の皆さんと一緒に準備を重ね、ついに“自法人製造のトマトジュース”が誕生しました。これまで培ってきた栽培の経験を加工へとつなげることで、6次産業化へまた一つ前進できました。

また、OEM加工のご依頼もいただき、想像以上に多忙で充実した夏を過ごしました。多くのお客様に支えていただきながら、地域に根ざした加工事業として少しずつ形になりつつあります。

生活介護では、加工作業や販売活動への参加を通じて工賃の向上を目指し、日々の取り組みを進めています。今年は市内外の販売会にも積極的に参加し、地域の皆さまに直接商品を手にとっていただく機会が増えました。お客様からの温かい言葉は、利用者の皆さんの大きな励みとなっています。

今後も、栽培・加工・販売を一つの流れとして育てながら、6次産業化をさらに充実させていきたいと考えています。地域に開かれた事業所として、利用者の皆さんの活躍の場を広げられるよう取り組んでまいります。

施設長 尾崎拓也



↑ トマトジュース商品一覧↓

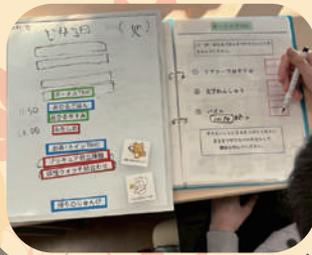


↑ キャップ閉め作業

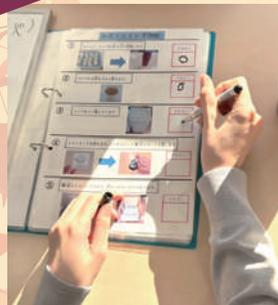
## 強度行動障害のある方への支援について

—「安心して過ごせる毎日」を大切に—

やりたいことに丸を付け  
意思表示をする  
ようす



作業や生活の流れを  
分かりやすいよう  
スケジュールを作成



第二旭川福祉園生活介護事業所では、自閉症特性が強く、強度行動障害のある利用者の方々に対し、「安心して過ごせる環境づくり」と「わかりやすい支援」を大切に支援を行っています。

自閉症の特性が強い方の中には、言葉で気持ちや要求を伝えることが難しかったり、見通しが立たない状況に不安や混乱を感じやすかったりする方がいらっしゃいます。その不安や戸惑いが、時に強い行動として表れてしまうこともあります。

そこで当事業所では、構造化の支援を基本とし、  
・活動の流れを視覚的に示す  
・作業や生活の場をわかりやすく整理する  
・「いつ・どこで・なにをするのか」が見て分かる環境を整える  
といった取り組みを行っています。

また、言葉によるやり取りが難しい方に対しては、絵カードや写真カードなどを用いた意思表示の支援を行っています。「やりたい」「やりたくない」「休みたい」「手伝ってほしい」など、本人の気持ちをカードで表現できるよう支援することで、気持ちが伝わらないことによるストレスの軽減につながっています。

こうした支援を積み重ねることで、落ち着いて過ごせる時間が増えたり、自分の気持ちを表現しようとする姿が見られたりと、小さな変化が日々生まれています。私たちは、その一つひとつの変化を大切にしながら、本人にとって無理のない関わり方を探し続けています。

新しい年も、利用者一人ひとりの特性や思いに寄り添い、「その人らしく安心して過ごせる生活」を支えていけるよう、職員一同取り組んでまいります。

支援員 佐藤 風紗

# グループホーム 旭川旭親会

新年あけましておめでとうございます。

グループホーム旭川旭親会では、男性用グループホームの「グループホーム東旭川」10名、女性用グループホーム「グループホーム花咲」4名、「グループホーム北野」6名の、計20名の方が入居して生活しています。

入居者の皆様は、日中は同法人が運営する事業所へ通所し様々な活動に取り組んでいます。グループホームでは、入居者の方々が日々「楽しい」と感じられる生活を送って頂けるよう、季節行事やイベントを行っています。

今後も入居者の皆様が笑顔で、彩ある毎日を過ごせるよう努めてまいります。

管理者 大泉加奈

東旭川神社・町内清掃・花壇整備手伝い



お花見



## 行事

【クリスマス行事食】  
【鷹栖熱夏祭り】



## YMCA



ボール渡し

スポーツ交流会

## 2025年

のできごと



小行事



2泊3日(大塚方面) 研修旅行 1泊2日(小塚方面)

アラジン珈琲 倶楽部へ



福祉園まつり



寄付金・御祝金

(株)ドールック様  
 (株)日本インソール工業様  
 (株)渡辺贈商様  
 HJ 北海道エネルギー様  
 (株)北海道電力工業所様  
 (株)幸防災組様  
 (株)旭盛永業組様  
 (株)北沢産業様  
 (株)東旭川農業協同組合様  
 大地コンサルタント様  
 旭川信用金庫北星支店様  
 吉田建設社様  
 (株)柴滝建築設計事務所様  
 (株)水野染工場様  
 (株)トヨタカローラ道北様  
 (株)ネクストソリューションズ様  
 カイロオフィス大雪様  
 イー・アンド・イー(有)様  
 (株)ひだの塗装工業様  
 (株)北洋銀行旭川中央支店様  
 (株)壺屋総本店様  
 (株)エスポワール様  
 名鉄観光様  
 (株)NAパック様  
 (有)ティーオーコーポレーション様  
 セトウチセンイ(株)様  
 旭川トヨペット(株)花咲店様  
 雅内信用金庫末広支店様  
 (株)神正木建様

建 脇 治 療 院 様  
 (有)工原工業様  
 (株)柳オクヤマ様  
 (株)片桐電気器様  
 (株)西山坂田電機様  
 (株)遠軽信用金庫末広支店様  
 エイチケイエム紙商事(株)様  
 (有)道北トローファイア商会様  
 (株)北海道銀行旭川支店様  
 旭川ガース(株)様  
 旭川山正義様  
 丸尾彰久様  
 松尾静男様  
 九龍山静男様  
 瀧野弘子様  
 山田弘子様  
 加藤藤子隆様  
 旭川福祉園保護者の会様  
 旭川旭親会保護者様  
 旭川福祉園互助会様  
 今野正孝様  
 加藤藤浩二様  
 尾崎拓也様  
 旭川旭親会職員様  
 コカ・コーラ様  
 (株)エムズフード様  
 セトウチセンイ(株)様  
 西山坂田電機(株)様  
 北海道療育園様  
 (株)大和パターナジ様  
 KT 加藤優樹様

寄贈品

新任職員紹介



【就労継続支援B型】  
 支援員  
 あらい てんた  
**新井 天太**



【生活介護】  
 支援員・送迎運転手  
 しょうだ ともひさ  
**正田 智久**



【就労継続支援B型】  
 支援員  
 しんどう こゆき  
**進藤 小雪**



【生活介護】  
 支援員  
 おくむら はるか  
**奥村 遥**



【就労継続支援B型】  
 支援員  
 たかの ひであき  
**高野 英昭**



【GH東旭川】  
 世話人  
 やまうち まさと  
**山内 雅人**



【きたのまち就業・生活】  
 就業支援担当  
 まえかわ しおり  
**前川 史緒里**



【就労継続支援B型】  
 事務員  
 あかおか りえ  
**赤岡 理恵**



【GH北野】  
 世話人  
 もりた よしみ  
**盛田 好美**



【きたのまち相談支援】  
 相談支援専門員  
 なりた みき  
**成田 美貴**

編集後記

2025年は大阪・関西万博の開催により、未来のくらしや世界とのつながりに目を向ける機会が増えた一年でした。テレビや街の話題でも万博のニュースが多く取り上げられ、研修旅行で参加された方のお話など、華やかな話題を耳にすることも多くあったように思います。また、スポーツや文化の分野でも心が明るくなる出来事があり、日々の生活の中に前向きな話題が広がりました。

今年2026は午年にあたり、物事が元気に動き出す年ともいわれています。これからも社会の動きを感じながら、皆さまにとって安心できる身近な存在であり続けられるよう、法人一同、利用者さんと共に歩みを重ねてまいります。

【佐々木】